

++
++
++
INNOVATION

第56期報告書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

 南海プライウッド株式会社

[経営理念]

私たち南海プライウッドは、独自の発想と経営で革新にチャレンジし、お客様の求める真の価値を創造し、ステークホルダーおよび社会との調和ある安定成長を実現します。

[コーポレートステートメント]

この理念のもと、企業の社会的責任を追求しています。

安心・安全・快適。品質第一のものづくりを推進し、自然と住まいに優しい環境優先型製品の開発を通じ、住宅文化の発展向上と持続可能な社会を目指すとともに、法令を遵守した公正な社会創りに貢献するために社会に対し3つの誓約を実践します。

行動規範 理念実現のための 3つのPROMISE

1 暮らし+INNOVATION

安定持続社会のために企業倫理を守ります。
ステークホルダーの安心の暮らしを守るためにCSR/コンプライアンスを経営の中枢においた態勢を構築します。

2 心+INNOVATION

お客様の心を満たします。
大切なお客様の笑顔を守り、信頼を築く態勢を構築します。

3 環境+INNOVATION

あらゆる環境の持続に努めます。
自然・社会・人の環境持続を優先した態勢を構築します。

ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ここに第56期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国に端を発した金融危機の深刻化によって、為替相場、株式市場は大きく揺らぎ、かつてないほどの危機的な状況に直面いたしました。

住宅業界におきましては、建築基準法厳格化に伴い激減した新設住宅着工戸数は回復基調にありましたが経済情勢の悪化とともに住宅取得を手控える動きが強くなり厳しい状況となりました。

このような状況のなか、当社グループは、環境に配慮した素材の使用と自社で使用する原材料の確保を目的にインドネシアでの植林事業を展開することにいたしました。植林事業は、現地子会社のPT.NANKAI INDONESIAが管理していきます。将来的には100ヘクタールで年間4万立米の木材を収穫できるようにしていきたいと考えております。また、厳しい経済状況を乗り切るために企業規模に見合った経営組織体制・経営効率化に取り組み、子会社の南海システム作業株式会社を解散いたしました。

先行きの景気は、金融不安と雇用・所得環境の悪化により、当面不透明な状況が続いていくと予想しております。住宅業界におきましても、新設住宅着工戸数は年間100万戸を下回る状況が予測されることから同業他社との企業間競争はますます激化していき、厳しい状況が続いていくと推測しております。

当社グループといたしましては、グループ丸となり市場の環境変化に迅速に対応するとともに、取納材製品の拡販に傾注し取納材のトップメーカーを目指してまいります。

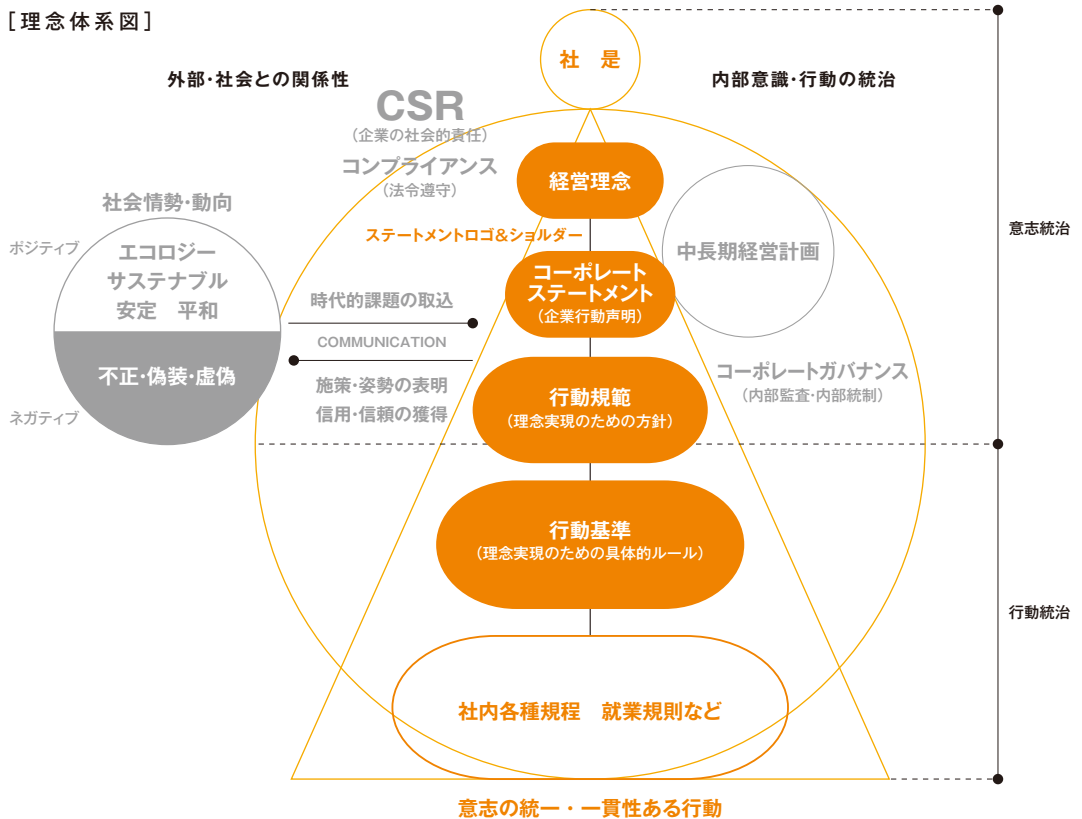
株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

経営理念体系

Corporate Idea Identity Manual

[理念体系図]



[経営理念体系]

- 企業は社会のために存在するものであり
その存在意義は「安定と平和」にある。
社会とのバランスのとれた共存・共栄の姿こそ
企業の追求すべき究極のテーマである。
- このテーマに対し
経営に対する永続的かつ普遍的概念と
経営者のビジョンを反映した南海プライウッドの「経営理念」を策定し、
企業としての社会への行動意志表明を「コーポレート・ステートメント」に表す。
また、その具体的な行動の指針・基準を「行動規範」「行動基準」にまとめ、
企業としてのアイデンティティある意識と行動を確立するものとする。
- これらの意志・行動を
「ステートメントロゴ&ショルダー」に集約し全体のシンボルとする。
- これらの体系表明は
ソーシャル・コミュニケーションの一貫でもあり
企業内の正常な統制・倫理向上を図ると共に
社会への一連の行動を通し、企業としての信頼価値を獲得し
業務の有効性と効率性を高めることを目的とする。
- 企業独自の内部統制と社会貢献のための行動。
これを「経営理念体系」と定める。

NEWS RELEASE

収納材

NANKAI
ORDER'S ONE
SERIES



ALL PLACE TOTAL DESIGNING

インセットタイプの間仕切り&L型コーナー



オーダーメイドパーティション

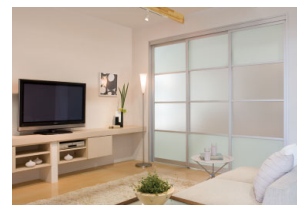
[オドア] 誕生! DEBUT!



インセットタイプの収納扉



アウトセットタイプ



インセットタイプ間仕切り

現在の収納を中心とした製品体系に、総合的な空間コーディネートを可能にするパーティションを新発売しました。オーダーメイド収納[オオ]、オーダーメイドパーティション[オドア]のオーダーワンシリーズは、お客様ひとりひとりのニーズに、ひとつひとつのカチで応える次代を見つめた製品です。南海プライウッドは、このようにユーザーの細やかなニーズにも対応しています。

床材 ArtFloor LIVL

New Design DEBUT

ワイルドグレイン

WILD GRAIN

自然のままの木目。本物に負けない美しさがここにある。

ウォームダーク

ハニーホワイト

ソフトミディアム

アートフロア [リブル] シリーズに 新柄ワイルドグレイン登場

2009年4月より、12mm厚フロアに
新しくワイルドグレインを発売しました。
ウォールナット柄で落ち着いた風合い、力強い木目を
丁寧にシートフロアで再現しています。
カラーによって様々な表情と雰囲気を出す
ワイルドグレイン、新登場です。

エクルベージュ

ココアブラウン

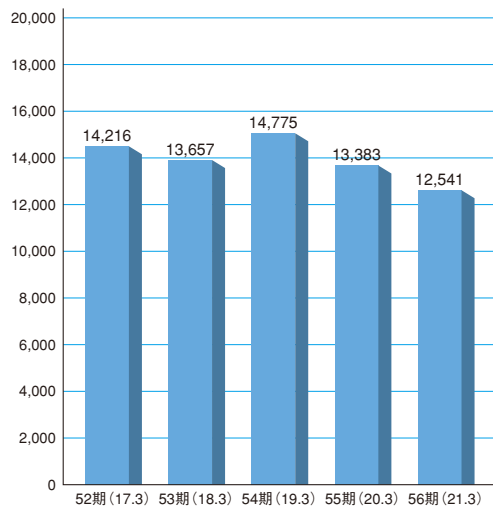
▼連結業績の推移

(単位:百万円)

項 目	52期 (17.3)	53期 (18.3)	54期 (19.3)	55期 (20.3)	56期 (21.3)
売 上 高	14,216	13,657	14,775	13,383	12,541
経 常 利 益 (△経常損失)	899	972	978	78	△78
当 期 純 利 益 (△当期純損失)	451	639	549	△21	△283
総 資 産	21,333	20,329	20,030	18,743	17,409
純 資 産	15,816	16,422	16,879	16,440	15,685
自 己 資 本 比 率	74.1%	80.8%	84.3%	87.5%	90.9%

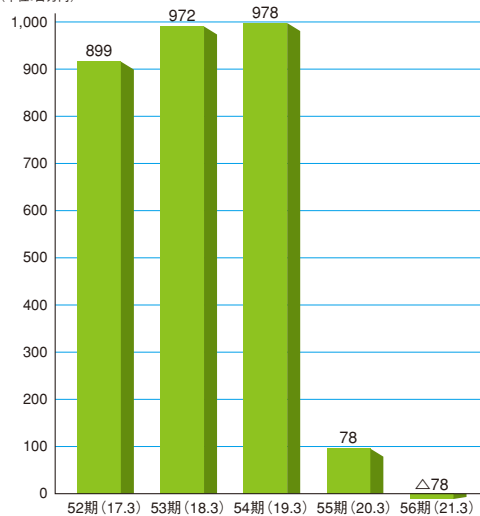
▼売上高の推移

(単位:百万円)



▼経常利益の推移

(単位:百万円)



当期の概況

当社グループでは、厳しい状況のなか積極的な提案営業活動を展開し製品の拡販に努めてまいりました。木材関連事業におきましては、収納材製品を中心にホームビルダーへの提案営業を強化し「アートランバー」、「オーダーズカット収納」等の拡販に努めました結果、収納材売上高は前年同期比2.3%の増加となりました。しかし、天井材については前年同期比11.9%、床材は同じく23.6%の売上高減少となりました。

一方、電線関連事業につきましては、大型物件を含む建設物件の減少が受注競争の激化をまねき非常に厳しい状況での営業展開となり、売上高は大幅に減少いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高125億41百万円、営業利益27百万円、経常損失78百万円、当期純損失283百万円となりました。

次期の見通し

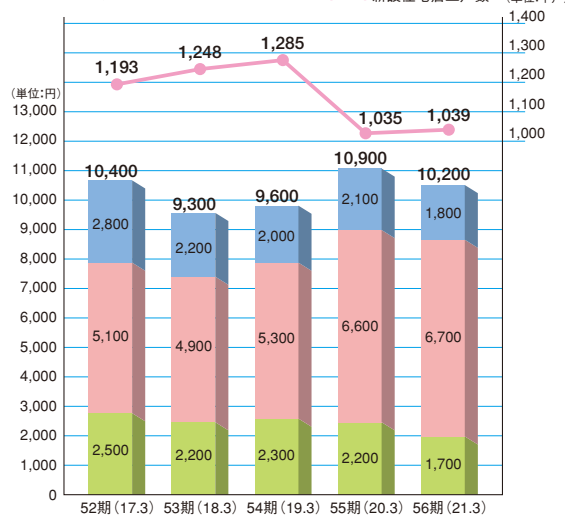
景気の先行きに対する不透明感が増す状況ではありますが、当社グループといたしましては、引き続き経営基盤の強化に努め、グループの業績目標の達成に全力で取り組んでまいります。

木材関連事業におきましては、競合他社との差別化をはかるため技術力・提案力の向上に努め、ホームビルダーへの積極的な提案営業活動を行い売上および利益目標の達成に努めてまいります。

一方、電線関連事業につきましては、全社をあげて営業基盤の強化に取り組み、顧客のニーズに対応できる提案営業活動を推進して行くことにより建設物件獲得に努めてまいります。

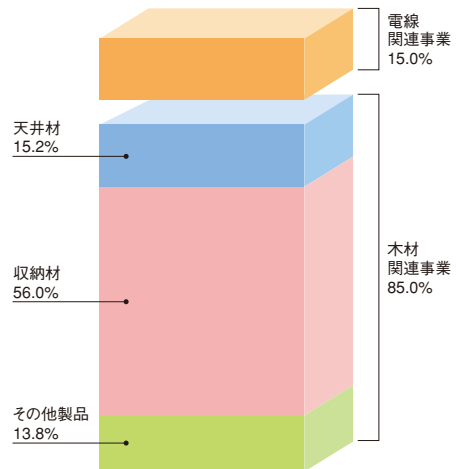
次期の連結業績は、売上高108億68百万円、営業利益30百万円、経常利益1億74百万円、当期純利益1億20百万円になるものと予想しております。

▼新設住宅着工一戸当たりの木材関連事業の売上高推移



注) 売上高は、外部顧客に対する売上高であります。

▼セグメント別の連結売上高構成



連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成20年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成21年3月31日現在)
■資産の部		
流動資産	9,255	8,496
現金及び預金	1,169	1,118
受取手形及び売掛金	3,201	3,382
たな卸資産	4,454	—
商品及び製品	—	902
仕掛品	—	548
原材料及び貯蔵品	—	2,096
繰延税金資産	—	226
デリバティブ債権	42	20
その他	391	207
貸倒引当金	△4	△6
固定資産	9,488	8,913
有形固定資産	8,042	7,475
建物及び構築物	2,291	1,992
機械装置及び運搬具	957	804
工具、器具及び備品	43	39
土地	4,750	4,628
建設仮勘定	—	10
無形固定資産	78	61
投資その他の資産	1,366	1,376
投資有価証券	643	688
長期貸付金	81	53
繰延税金資産	5	27
その他	637	609
貸倒引当金	—	△2
資産合計	18,743	17,409

	前連結会計年度 (平成20年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成21年3月31日現在)
■負債の部		
流動負債	1,982	1,476
支払手形及び買掛金	938	643
短期借入金	200	100
未払金	213	242
未払費用	72	59
未払法人税等	15	26
未払消費税等	66	77
賞与引当金	120	100
デリバティブ債務	332	207
その他	21	18
固定負債	321	248
繰延税金負債	121	56
退職給付引当金	133	142
役員退職慰労引当金	28	22
その他	38	27
負債合計	2,303	1,724
■純資産の部		
株主資本	16,380	15,963
資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	12,465	12,103
自己株式	△71	△127
評価・換算差額等	22	△302
その他有価証券評価差額金	90	43
繰延ヘッジ損益	△191	△111
為替換算調整勘定	124	△233
少数株主持分	36	24
純資産合計	16,440	15,685
負債・純資産合計	18,743	17,409

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	当連結会計年度 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
売上高	13,383	12,541
売上原価	9,453	9,048
売上総利益	3,930	3,492
販売費及び一般管理費	3,543	3,465
営業利益	386	27
営業外収益	146	156
営業外費用	454	261
経常利益(△経常損失)	78	△78
特別利益	13	4
特別損失	19	238
税金等調整前当期純利益(△純損失)	73	△312
法人税、住民税及び事業税	56	70
法人税等調整額	35	△99
少数株主利益	2	—
当期純利益(△純損失)	△21	△283

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	当連結会計年度 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	353	702
投資活動によるキャッシュ・フロー	△394	△414
財務活動によるキャッシュ・フロー	△208	△234
現金及び現金同等物に係る換算差額	△74	△102
現金及び現金同等物の増減(△)額	△324	△50
現金及び現金同等物の期首残高	1,485	1,161
現金及び現金同等物の期末残高	1,161	1,110

■ 損益ポイント

1. 収益性の低下による棚卸評価減及び材料高等の影響で売上原価率が1.5ポイント悪化。
 2. 円高による為替換算差損、デリバティブ時価評価差額損の発生。
 3. 賃貸用不動産の減損損失、訴訟関連損失等の発生。
- 以上3点が当期純損失の大きな要因となりました。



植林事業の展開

PT. NANKAI INDONESIA

当社は2006年にインドネシア・カリマンタン中部の休閒地を活用した、循環農耕型の植林事業を開始しておりますが、2009年インドネシアジャワ島東部のパレとボンドウォソ、中部カリマンタンのプガタンの3箇所で植林地300ヘクタールを確保し、本格的に植林事業を展開していきます。

目 的：環境に配慮した素材を追い求め、自社で使用する木材は、
自前で確保することによる製品の安定供給。

植栽樹種：ファルカタおよびグメリナ

特 徴：早生樹であり6年から7年で樹高15メートル、平均径級40センチとなる。

使用製品：収納材製品

管 理：現地法人子会社のPT.NANKAI INDONESIA



ファルカタの成木

子会社の解散

当社の子会社であります南海システム作業株式会社は、経営の効率化を図るため、平成21年3月2日をもって解散いたしました。
なお、子会社の業務・従業員は、当社が引き継いでおります。

商 号：南海システム作業株式会社
設 立：平成14年4月1日
代 表 者：代表取締役 立花俊憲
本 社：香川県高松市松福町一丁目15番10号
資 本 金：1,000万円
株主構成：当社100%
事業内容：建築部材の梱包・荷造
従業員数：30名（派遣10名）

株式の状況

(平成21年3月31日現在)

総数

発行可能株式総数…………… 20,000,000株
 発行済株式総数…………… 10,095,800株
 株主数…………… 740名(前期末比40名増)

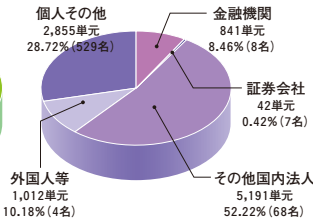
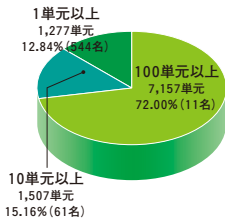
大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
南海興産株式会社	2,943千株	30.35%
財団法人南海育英会	1,554	16.03
SIX SIS LTD.	505	5.20
株式会社百十四銀行	467	4.82
丸山修	344	3.55
株式会社愛媛銀行	243	2.50
CLARIDEN LEU LTD	222	2.28
SOCIETE GENERALE NRA NODTT	216	2.22
南海プライウッド従業員持株会	136	1.40
株式会社百十四ディーシーカード	128	1.32

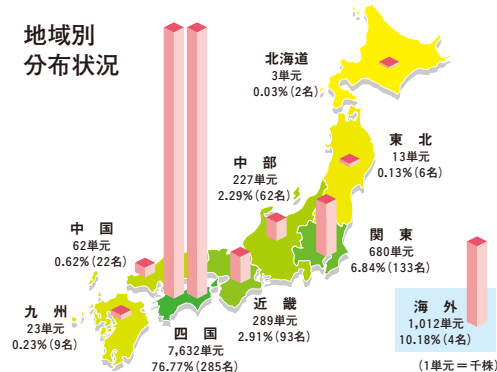
(注) 当社は自己株式399,331株を所有しております。なお、出資比率は当該自己株式を発行済株式の総数から控除して算出しております。

所有単元数別分布状況

所有者別分布状況



地域別分布状況



会社概要

(平成21年3月31日現在)

商号 南海プライウッド株式会社
 本社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号
 電話 087(825)3615(代表)
 Eメール np@nankaiplywood.co.jp

インターネットホームページ <http://www.nankaiplywood.co.jp>

設立 昭和30年4月16日
 資本金 21億2100万円
 従業員数 350名(連結1,366名)
 事業内容 建築内装材の製造・販売
 事業所 志度工場
 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地
 物流センター
 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1
 朝日新町倉庫
 〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号

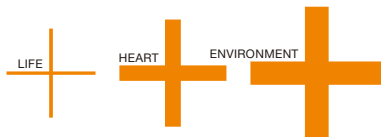
役員

(平成21年3月31日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	取締役・執行役員	正箱 孝史
代表取締役専務執行役員	山口 時弘	取締役・執行役員	丸山 宏
		取締役・執行役員	玉置 康洋
取締役相談役	丸山 修	常勤監査役	高松 幸雄
取締役・執行役員	田井 雅士	監査役	大川 俊徳
取締役・執行役員	小紅 正晴	監査役	岩部 達雄
取締役・執行役員	藤村 岳志	監査役	村田 剛

株主メモ

- 事業年度 / 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 / 6月
- 基準日 / 3月31日(その他必要があるときは、予め公告する一定の日)
- 株主名簿管理人 / 株式会社だいこう証券ビジネス
特別口座の口座管理機関
- 同事務取扱場所 /
〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
- 株式事務に関するご照会 / フリーコール電話番号 0120-255-100
- 特別口座に関するご照会 / フリーコール電話番号 0120-351-465
- インターネットホームページ / <http://www.daiko-sb.co.jp>
- 上場金融商品取引所 /
大阪証券取引所 市場第二部(証券コード7887)
- 公告方法 / 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。



[TRIPLE CROSS トリプルクロス]

南海プライウッド経営理念の象徴化および、
その具体的活動領域をシンボル化しています。
CSR(企業の社会的責任)の課題に対応し
社会に向けての行動規範を3つの誓約として
+(プラス)のデザインに表し、
その領域で付加価値提案や社会貢献する
意志を表現しています。

LIFE = 暮らし

HEART = 心

ENVIRONMENT = 環境

